

あゆみ



<沿革>

施設長 挨拶

いこいの家は昨年 2024 年に開所 50 年を迎え、「開所 50 周年記念式典」と「記念イベント いこいの家祭り」を行いました。

コロナ禍を経て 4 年ぶりのイベントの開催ということもあり、想像をはるかに越える 787 名の方が来てください、一緒に 50 周年をお祝いし、改めていこいの家が、地域の皆様、関係機関、卒園児、在園児など多くの皆様に支えられていることを実感しました。これからもいこいの家が皆様に愛され、笑顔あふれるいこいの家であり続けられる様に、職員一同力をあわせていきたいと思います。

この度、より多くの皆様にご覧いただけるよう、いこいの家ホームページに「50 周年記念ページ」をアップいたしました。懐かしんだり、昔はこうだったの？今はこうなの？と驚いたりしながらご覧いただけたら嬉しく思います。

これからもいこいの家をどうぞよろしくお願ひします！

施設長 有田 瑞恵

昭和 40 年（1965 年） 4 月 制度の谷間にいた心身障害児の親達が、水落公園で青空教室を開いたのがきっかけで、在宅心身障害児のために「いこいの場」を創ろうという運動が始まる。

昭和 45 年（1970 年） 10 月 「障害の種類・程度・年齢などで差別されず、適切な療育が受けられる施設」の実現を期して、建設委員会が組織される。

昭和 49 年（1974 年） 4 月 「いこいの家」事業活動開始。
7 月 建設竣工・開所式後、通園開始する。

昭和 51 年（1976 年） 4 月 「知的障害児通園施設」として認可される。定員 30 名。
地域福祉専任職員配置。

昭和 54 年（1979 年） 4 月 「養護学校義務化」に伴い施設内訪問教育が始まる。
措置外児童を対象に「幼児グループ」と称して母子保育を開始。

昭和 58 年（1983 年） 4 月 以後、園児は幼児のみとなる。「幼児グループ」を「母子通園」と改称して取り組み強化。

平成 3 年（1991 年） 4 月 遊戯室確保のため保育室増築する。10 名増員し、定員 40 名。

平成 6 年（1994 年） 4 月 「母子通園」を「親子教室」と改称し、11 月より平日実施始まる。

平成 16 年（2004 年） 4 月 「親子教室」専任を配置し、平日のみ延べ月 8 回（3 グループ制）

平成 17 年（2005 年） 8 月 春日町より、城東保健福祉エリア内へ移転、10 名増員、定員 50 名。

親子教室に心理職を配置

平成 24 年（2012 年） 4 月 法改正により「児童発達支援センター」として認可される。

平成 25 年（2013 年） 4 月 相談支援「ちゅーりっぷ」・保育所等訪問支援の指定を取り、事業開始。

いこいの家の一日

10:00 登園・朝の支度・自由遊び



10:30 朝の会・午前中のあそび



11:30 給食



12:30 休息・お昼寝



14:00 おやつ



14:45 帰りの会

15:00 降園

いこいの家の一年

☆入園始業式



☆遠足☆



☆夏祭り☆



☆節分☆

☆七夕集会☆



☆ひなまつり☆



☆七五三☆

☆運動会☆



☆クリスマス会☆



☆卒園修了式☆



地域支援事業のあゆみ



親子教室



昭和58年（1983年）に「母子通園」という名前で始まった親子教室は、「言葉がなかなか出でこない」「落ち着きがなくて毎日大変」「集団が苦手のようで心配」など集団に入る前の発達に少し心配のある静岡市在住のお子さんとその保護者が親子で一緒に参加していただく教室です。年齢などでグループを分けて、現在では概ね月の第2～4週の火曜日～金曜日に開催しています。

親子で楽しんで参加していただけるように、水あそび・クリスマス会・豆まきなどの季節のあそび、小麦粉粘土・フィンガーペイント・スライムなどの感触あそび、楽器あそび・わらべうたあそび・音楽あそびや感覚遊具あそび、お店屋さんごっこ・劇ごっこ・しゃぼん玉あそびなど幼児期に経験したいさまざまな活動をしています。

活動を通して、親子で一緒にあそぶことにより発達の基礎となる共感関係を築く・子どもの心が動いて伝えたくなる機会を増やす・「やってみたい」意欲と「出来た」「褒められた」「嬉しい」など自信を育てる・お父さんやお母さんに

子どもに合った声掛けや関わり方を知っていた
だくお手伝いができたらと思っています。



保育所等訪問支援事業



いこいの家保育所等訪問支援事業は、平成25年度よりスタートしました。

この事業は、こども園・保育園・幼稚園等、集団生活を行う場において、専門的な支援が必要と認められたお子さんに対し、保護者の申請により訪問支援員が施設を訪問し、集団生活への適応を促すことを目的としているサービスです。

集団生活において、お子さんのあらわれにあった関わりの方法や環境を、訪問先の先生方と一緒に考えていくことがこのサービスの軸となっています。

幼児期に“楽しい”と思える経験を、お友達や先生と集団生活のなかでたくさん積み重ねていくことができるよう、支援を実施させていただいております。

相談支援「ちゅーりっぷ」

相談支援「ちゅーりっぷ」は相談支援体制の変革に伴い、いこいの家でも平成25年度からスタートしました。

障害児通所支援・障害福祉サービスを利用することで、お子さんがいきいきと活動することができ、ご家族で地域で安心して生活できるようにすることを目指しています。必要な支援を一緒に考え、サービス利用計画・障害児支援利用計画作成のお手伝いをしています。

それぞれのライフステージで安心できる居場所を見つければと思います。

相談支援「ちゅーりっぷ」スタート当初にいこいの家に通園していたお子さんも今では高校生、社会人となり、それぞれの場所で元気に活躍しています♪



地域福祉事業



いこいの家では地域の方々に、いこいの家のことを知っていただきたいという思いから、毎月『いこいの家通信』を発行、ホームページにアップしています。

その中で毎月巻頭を飾っている『お母さん（お父さん）の詩』。これまでに全8集発行しています。通園児のお母さんやお父さんの思い、愛情あふれるエピソード、心温まる素敵なお話を、多くの方々にお届けしています。

ご協力いただいたお母さん、お父さん、本当にありがとうございました。



保育ボランティア
定期的にこどもたち
と楽しく遊んでくだ
さっています。



装飾ボランティア
かりんの会、厨房 OB
の皆さん、季節に合
わせたかわいい壁面装
飾を作ってくださって
います。

散髪ボランティア
ラ・クープ美容室の
ご夫婦が、お店の定休日
(月曜日)を使って散髪
ボランティアに来て
くださっています。



わにこさん
毎年、“人形劇団
わにこ”さんが
楽しい人形劇を
披露してくださ
います。



いこいの家まつり 50周年記念

いこいの家 50周年を記念して、記念式典及びお祭りを開催しました。式典ではボランティアさんなど今までお世話になった方へ感謝状を贈らせていただいたり、お祭りでは卒園児さんが大勢来てくれたりといこいの家はたくさんの人との繋がりがあり、たくさんの人に支えられてきたことを実感することができました。

記念式典



職員によるおおきなかぶの劇で盛り上がりました！



記念品を作りました

いこいの家まつり



オープニングでダンス♪



綿菓子やポップコーンなど屋台もたくさん出ました！



いこいのこれまでの写真を「おもいでコーナー」として掲示しました



バルーンアート♪

いにいの家の昔と今

園舍



春日町に建てられた旧園舎。

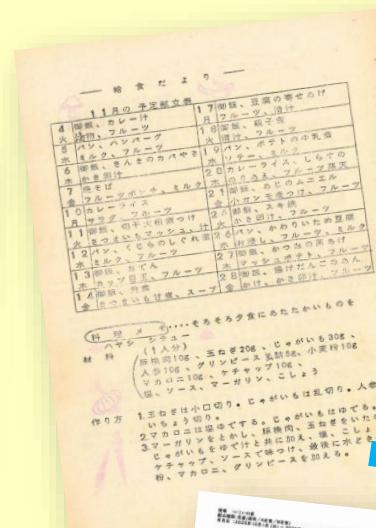
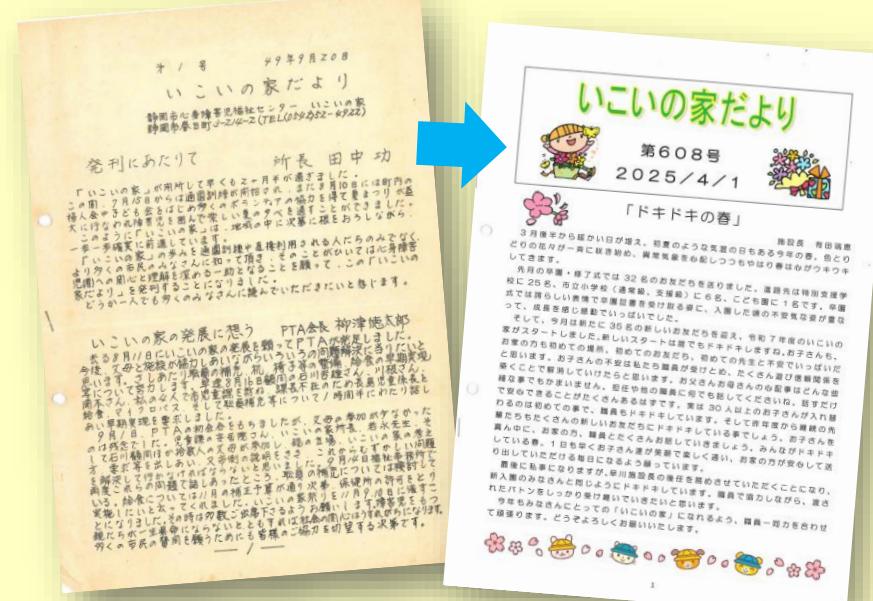
当時の園舎の時計台をモチーフに

園歌『ひまわりの時計台』が作られました。

平成 17 年に城東町へ移転。

早くも20年が経ちました。

＜いにいの家だより＞



<献立表>



〈いにいの家通信〉



いこいの家だより第1号は昭和49年、
いこいの家通信第1号は昭和55年に
発行しました。

現在までにいこいの家だよりは第614
号、いこいの家通信は第519号を発行
しています。